

第2回 阿賀野市総合計画審議会 議事要旨

1 会議の概要

日 時：平成28年1月13日（水）午後3：00～5：00

場 所：阿賀野市役所 委員会室

出席者：武田会長、芋川委員、上松（昭）委員、上松（和）委員、小林委員、
百都委員、渡辺委員

2 議事概要

- (1) 基本構想（案）について
- (2) 基本計画（案）について
- (3) 基本計画の分野別計画（案）について
 - ①政策1 安全・安心な暮らしの実現
 - ②政策2 子どもの育成支援の充実
 - ③政策3 高齢者や障がい者福祉の充実

3 主な意見

(1) 基本構想（案）について

- 前回審議会において、ご意見をいただいた基本構想（案）の「阿賀野市のまちづくりの方向性」③中『均衡ある発展』については、表現の修正等を検討したいと考えている。今後の審議会でもっと意見も全て含めた形での修正案を提示させていただきたい。（事務局）
- 文言を変える方向性である、というまでの決定であり、具体的に「このように変える」というところには至っていないということか。
- 今後も審議の過程で、いろいろな意見を当然いただくことになると思うので、最後に開催する第4回委員会で、それらの意見に対する修正案をまとめて提示することを考えている。（事務局）

(2) 基本計画（案）について

- 他市町村と同じような施策や基本事業になりがちである。その中でも、阿賀野市の独自性をもっと打ち出した方がよいのではないか。それと、掲げる事業に

本気で取り組む行政の姿勢、それに市民の姿勢もないと実現できない話であって、行政と市民の協働体制が不可欠である。有名無実な計画にならないよう、その辺りをさらに詰めていく必要があるのでは。

- 「基本計画の考え方」34 ページの図で、5つの政策の柱を『市民協働の推進』と『信頼される行政経営』が支えることを表している。ご意見のような考え方について、これまで3年ほど取り組み、実践するにはハードルが高いと感じているが、これからも意識して取り組むことをこの図は示すものである。(事務局)

○基本計画は、前期計画と後期計画の計画期間が5年と4年となっていて、1年の差がある。どのような意図があるのか。

- 市長の任期は4年であるが、現行計画は27年度までが計画期間である。そのために生じるズレを調整するものである。(事務局)

(3) 基本計画の分野別計画(案)について

①政策1 安全・安心な暮らしの実現

…施策1 地域医療体制の充実

○『常勤医を確保し、』や『救急告示の早期復活』といった記載があるが、いつになる、という見通しはあるか。

- 救急告示の復活について、具体的な見通しはまだ立っていない。ただ、常勤医は現在18人で、あがの市民病院の開院前である昨年4月時点と比較し、5人増えた。しかし、救急体制には医師数がまだまだ不足しているので、今後も体制を整えていきたい。(地域医療推進課長)

○男性の不妊治療人数は把握しているか。

- 27年度は全体で10人位の申請を受け付けているが、男女別の資料を今日は持ち合わせていない。(健康推進課長)

○男性の不妊治療についてのフォロー、といったことをここで盛り込んではどうか。少子化対策、転入増が見込めると思う。

…施策2 健康づくりの推進

○『けんこつ体操』の記載があるが、実は母親が、今月の5回シリーズの教室に参加している。良い取組だと思うが、5人しか参加していなくてもったいないという話になった。PRが足りないのでは。

●各種健康教室に参加したことがある方に対してチラシを送ったり、市の広報紙を使って広報したりしているが、なかなか参加者が少ない、という現状である。自治会長宅を訪問し、自治会で取組みいただけないか、とお願いに回ったりもしているが、自治会全体として取り組んでいくのは難しい、という理由で断られることが多い。今後は、婦人会などのもっと小さい単位の方たちを対象に取組のお願いをすることで、啓発を進めていくことを考えている。(健康推進課長)

…施策4 地域福祉の推進

○『ボランティア活動などに自主的に参加する人材の確保に努めます。』という記載があるが、この先頭に立つ人として、市議会議員にお願いできないかと思う。これは、要望事項ということであり、伝えておいていただきたい。

…施策5 セーフティネットの推進

○国に依存している制度なので、簡潔な記載となっているが、具体的、現実的に課題を抱えている分野であろうかと思う。ページの空白が大きすぎるようなので、現状や課題の記載をもっと盛り込むことはできないか。方向性だけでも見えるようにした方がよいのでは。

●検討させていただく。(事務局)

…施策6 防災減災体制の充実

○去年、施工した防災行政無線の用途は、どのようなものか。せっかく作ったものなので、有効活用してはどうか。

●現在は、災害・緊急時、あるいは人命の危険が考えられる場合での利用、もう一つは動作確認も兼ね、時刻のチャイムに使っている。用途についてはいろいろ考えられるが、使い過ぎるといざという時に住民の方から意識してもらえないデメリットもあると思う。十分に検討し、活用していきたい。(総務課長)

…施策7 防犯対策の充実、施策8 交通安全対策の推進

○高齢者の防犯対策や交通安全について、基本事業では特に盛り込まれていないようである。警察の管轄になるのかもしれないが、高齢者に対しての具体的な施策は考えているか。

●「防犯対策の充実」については、国県の補助でオレオレ詐欺電話に対する電話装置の貸出事業が今年からスタートしたところである。

「交通安全対策の推進」については、高齢者世帯の訪問活動や、免許証返納制度を周知し、交通安全啓発活動に現在取り組んでいるところであり、今後も継続する。(総務課長)

○以前の勤務先の長岡市栃尾では、老人クラブ連合会の運動会などで大勢が集まった際、振り込め詐欺未然防止の講演を自分がさせていただいたり、交通安全指導を警察の方が行う、といったことがよくあった。阿賀野市にもそういった組織があるのであれば、有効に活用してもよいのでは。

●阿賀野市老人クラブ連合会という組織があり、現在の会員数は約900人。全国的な傾向であるが、以前より100人減っている。健康づくりや、ボランティア活動、高齢者福祉といった施策でも、協力いただきたいと考えている。(高齢福祉課長)

○合併前4町村の老人クラブが一緒になって、市老連になったのだと思うが、市老連全体が一堂に会してのイベントは現在あるのか。

●旧町村の地域ごととなっている。自動的に加入するものでなく、加入率が低くなってきており、各クラブ単位で苦勞している。(高齢福祉課長)

●高齢の方が大勢集まった際の講話ということであれば、現在、4地区で開催する敬老会の際に、警察の方から暮らしに役立つ講話をいただいている。(民生部長)

○地域コミュニティーがきちんと出来ていれば、いろんなことがやりやすいのでは、と思うので質問させていただいた。

②政策2 子どもの育成支援の充実

…施策1 子育て環境の充実

○『子育てしやすい環境になっていると感じる市民の割合』の現状値がアンケート

トで79.6%となったが、具体的にどういったところで子育てしやすいと感じているか、回答はいただいているか。

●具体の回答は、いただいていない。そこまで踏み込んだ設問形式ではなかった。
(事務局)

○今回のアンケートでは、満足している割合が高い結果だったと思うが、「これから何もしないでいい」というものでないと思う。良いところと悪いところを聞いてみて、良いといわれた部分については維持をし、悪い部分を改善していけばよいのではないか。

●別の計画を立てる際に行った以前のアンケートでは、もっと満足度は低く、今回の79.6%という数値は、事務局としても予想よりずっと高い数値であった。右側のページにある基本事業1「未就学児・保護者の交流と不安軽減」の3つの指標は、乳幼児健診の際の1年分のアンケートを3月にまとめて、これから現状値を把握するものなので、その際に深掘りできるものと思う。(事務局)

○事務局から提供のあった実際のアンケート資料を見ると、今回のアンケートでも『そう思わない』と『どちらかといえばそう思わない』と答えた方に、何が不足しているか、を聞いている形となっているようだが。

●そのとおりであった。次回の委員会で資料提供させていただく。(事務局)

○自分も独身の友人が多くいるが、基本事業7「結婚意識の向上」では、どのように意識を向上させていくのか、聞かせていただけないか。

●現在、計画中の段階であり、この場で答えることはできないが、最重要の事業と考えている。(事務局)

○指標の『婚姻率(人口千人当たり)』は、どのように算出するのか。

●婚姻件数を総人口で割って算出するものである。(事務局)

●『婚姻率』は、国でも使う指標であり、国や他市町村との比較の際に使用しているもの。算出方法も定められている。ご理解いただきたい。(民生部長)

○現状値の3.6%は低いのか、高いのか。

●県内の市の中でも、低い数値である。全国平均は5.1%。(事務局)

○合計特殊出生率1.53人の目標値は、低いのではないか。『子育て環境日本一』

を掲げていることから、より高い目標を設定できないものか。

- 現状がかなり厳しく、1.50人以上の目標を達成するのは難易度が高い。これ以上の目標は、設定しづらい状況である。この1.53人の目標達成に向け、努力していきたい。(事務局)

③政策3 高齢者や障がい者福祉の充実

…施策1 高齢者福祉の充実

○基本事業3「日常生活の支援」の指標である『外出時の移動に困っている高齢者の割合』並びに『買い物に困っている高齢者の割合』について、指標を減らすための具体策はどのようなものかを考えているか。

- 生活支援サービスの体制提供の構築といったことを考えている。『市民協働』の考え方を基に、地域や社会で支えるまちづくりを進めていく。商工会、農協、建設業協会等と一緒に協会の設置に向けて、現在準備を進めている。
(高齢福祉課長)

…施策2 障がい者福祉の充実

○基本事業1「障がい者への適切な支援」の指標である『自立支援給付サービスの利用者数』について、サービスの内容はどのようなものか。

- ショートステイ等、介護系サービスの自立支援給付サービスである。(社会福祉課長)

【その他】

○目標値が「増やす」や「100%」となっているものがある。理想を言えば、全部「100%」となるわけであり、数値の妥当性についてはどのように考えているか。

- 現状値に対して、どの程度伸ばせば「あるべき姿」になるのか、客観的な数値は出しにくいところである。「100%」については、『ここまで持って行く』という強い意思を表すために設定している。また、「増やす」など具体的な数値目標が出ていない指標については、アンケート結果等による現状値が高く、さらに高い目標を掲げることは難しいため、現状を維持しつつ向上を図りたいと

いう意味合いである。(事務局)

○施策を推進するために中心となる課、そこに連携する課や、各団体があるもの
と思う。各施策のページに、そういった部分が記載してあると分かりやすいの
では。

●他市町村においては、そういった記載をしている計画も見受けられるが、組織
改編等があった場合に修正の必要が生じることも考え、当市においては掲載し
ないこととした。

なお、28施策のうち、単独の部署で対応できる施策はわずかであり、多くの
施策は、複数部署が一緒になって成果の実現に向かっていくものとなっている。
この計画案は、最初の段階で各施策の主管課と関係課を設定し、そのグル
ープの中で議論を行い、作り上げた。この計画が策定された後は、目標値に向
かって各施策の検証や事業展開をしていくことになるが、そこでの進捗管理に
ついては、施策主管課を中心として関係課と行っていくことを考えている。(事
務局)

○「基本事業名」、「あるべき姿」、「指標名」の内容の部分については、総合戦略
を検討する段階で話を進めてきたので、申し上げることは特にない。目標値を
達成するために、具体的なアクションプランをこれから毎年どういう形で行う
など総括の部分が重要になると思う。